

★第9回TOSS全国1000会場一斉セミナーin福井★



2月12日(土) 第1部 14:00 - 16:00 福井教育センター

14:00 - 14:40

講座1 出会いに語る教師の夢(覚悟)が、学級を育てる

講座2 出会いの授業。これからの1年を凝縮させた50分

14:50 - 15:20

講座3 別れに何を教えるか、別れは教師の最後の教育です

講座4 別れの日、最後の授業でこの言葉を伝える

15:30 - 16:00

Q & A講座 みなさんのご質問にお答えします

《資料代》 第1部:学級経営 2,000円 第2部:部活動 2,000円
ただし、両方参加の場合は、2,000円とします。

中学部活動セミナー

部活動に何を求めるのか

部活指導で何を得たのか

2月12日(土) 第2部 16:30 - 18:30 福井教育センター

16:30 - 17:20

講座1 休日返上、『日本1を目指した部活指導』から何を得たのか

17:35 - 18:25

講座2 勝ったとき何かが変わった。熱い指導が生徒を変える

講座3 授業から、学級から、部活から、逃げる生徒をつなぎ止める指導

講座4 お荷物部、受け皿部と呼ばせない。誇りを持たせる部活指導

《学級経営》西尾文昭 e-mail : EZR03260@nifty.ne.jp

《部活動》真柄二郎 e-mail : EZV04116@nifty.ne.jp

各会場共通申し込みフォーム

携帯サイト

<http://tossfukui.net/tosssday/sanka/>

<http://tossfukui.net/tosssday/>

教育のポータルサイト TOSSランド <http://www.tos-land.net/>



中学教師の生きがい!!

中学セミナー 2月開催

中学校教師は3月末から5月頭にかけて部活動に熱中している。やる気のある教師ほどそうだ。春の大会に向けて練習試合を組み出かけていく。そういう熱心な教師に足を運んでもらいたい。教育全般難でもよい。教科指導でも学級経営でも、**子どものためにがんばろう**という熱心な教師に集まってほしいのだ。

唯一、時間がとれるのが2月の中旬だ。この時期をねらって中学セミナーを開催する。この時期ならば大会もなく部活動も休みやすい。高校入試関係もない。

□ 2月12日(土) 13日(日)

第1部 14:00~16:00 第2部 16:30~18:30

開始時間が2時ならば、午前の部活を終え、昼食を食べ着替えて参加してもらえるだろうという考えからである。。

中学教師の生きがいを語る

中学セミナーでは、感動のある講座を目標にしてきた。例えば、

- (1)学級経営：荒れとの戦い
- (2)教師の意気込みを語る黄金の3日間
- (3)別れの授業、別れにしかできない教育
- (4)生徒指導の基本：ほめて育てる
- (5)生き方を語る生徒指導
- (6)温かさのある特別支援教育

ただ基本を語るだけではなく中学校教師にしか味わうことのできないダイナミックさや熱さや涙を伝えてきたつもりだ。中学校教師をやってきてよかったと思えるドラマを伝えてきたつもりだ。

中学校勤務を嫌がる教師が多い。忙しい。子どもが難しい。帰りが遅くなる。どれも気持ちは分かる。しかし、それに見合うだけの**感動がある**ことも事実だ。そこを伝えなければ、みんな中学校から去ってしまう。

参加者、講師、事務局、一体となり、**中学教師で良かったと思える講座をつくりたい。** 13日ちらしへ続きます。

12日(土)講座の紹介

出会いと別れにしかできない教育 14:00~16:00

講座1：出会いに語る教師の夢(覚悟)が、学級を育てる
怒鳴りたいとき、夢を語った。叱りたいとき夢を話した。

どんなトラブルもそうやって乗り越えてきた。

講座2：出会いの授業。これからの1年を凝縮させた50分

教師の生き方が、学級のシステムやルールづくりの礎となる

教師の生き方を伝えるために、システムづくりからルールづくりがある

講座3：別れに何を教えるか、別れは教師の最後の教育

別れの日にはしか伝えられない本音で語る教師の生き方

講座4：別れの日、最後の授業でこの言葉を伝える

保護者が泣いた、生徒も泣いた、最後の授業を再現

部活動に何を求めるのか、部活指導で何を得たのか

講座1：休日返上、『日本1を目指した部活指導』から何を得たのか

勝って喜んだのは、教師だけだった。そこに気づいたとき自分を変えようと思った。

講座2：勝ったとき何かが変わった。熱い指導が生徒を変える

どうせ僕なんかと思っていた生徒が変わり始めた。

講座3：授業から、学級から、部活から逃げる生徒をつなぎ止める部活指導

誰も信じられない、自分すら信じられない生徒がいた。

信じることを教える、それが目標だった。

講座4：お荷物部、受け皿部と呼ばせない。誇りを持たせる部活指導

生きる力を育てることが教育だ。彼らに必要なのは誇りだった。

過去の参加者の感想

- 中学ばかりで教員をしていて、行事・部活動は本当に大切だと思います。集団づくりという視点でのTOSSの先生方の実践を聞かせていただいたのはありがたかったと思います。学活や朝の会、帰りの会、生徒にとっての休み時間の活かし方なども取り上げていただけると...と私なんかは思います。
- 中学校でサッカー部を持ったことがある。何も分からず、生徒も言うことを聞かず苦労した。今日の講座を受けて、そのすべてが自分に足りないと感じた。まずは姿勢から変えていけたらいいと思う。